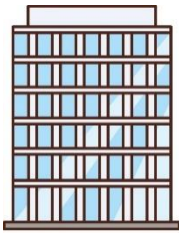


じしん ひなんこうどう 地震のときの避難行動

つなみ よしん きげん ばあい ひじょうもちだし
津波や余震の危険がある場合は、非常持ち出し
ひん じゅんび ひなん おこないましよう
品を準備して、避難を行いましよう。



ひなん げんそく とほ
避難するときは、原則として徒歩で避難しましよう。
くるま つかう じゅうたい おこし しやうぼうしや きゅうきゅうしや
車を使うと渋滞を起こし、消防車や救急車などに
ししやう
支障をきたします。



つなみ きげん がなく かくにん できるまで、かのう
津波の危険がないことが確認できるまで、可能な
かぎり つなみ ひなん もくひょうちてん おおなかい せきこうえん のぞえきた
限り、津波避難目標地点（大中遺跡公園・野添北
こうえん）へ向かって避難し、途中で間に合わない
むかっ て ひなん とちゆう ま あわ ない
公 園）へ向かって避難し、途中で間に合わない
おもったばあい つなみ ひなん びる ひなん
思 った場合は、津波避難ビルに避難しましよう。

じしん まえ 地震がおきる前にできること

1. 家庭での防災会議
かてい ぼうさいかいぎ
2. 住宅の耐震補強
じゅうたく たいしんほきょう
3. ブロック塀・石塀の撤去や補強
ぶろっくべい いしべい てつきよ ほきょう
4. 家具の転倒防止
かぐ てんとうぼうし
5. 家電の落下防止、家具の配置の工夫など
かでん らっかぼうし
6. ご近所と顔見知りになる。

